

【B年】

聖霊降臨後第十六主日

特定十九

神よ、あなたに寄らなければわたしたちはみ心にならう
ことができません。どうか何事をするにも、聖霊によって
わたしたちの心を治め、導いてください。主イエス・キ
リストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第五〇章四節から」

4 主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え

疲れた人を励ますように
言葉を呼び覚ましてくださる。

朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし
弟子として聞き従うようにしてください。

5 主なる神はわたしの耳を開かれた。
わたしは逆らわず、退かなかつた。

6 打とうとする者には背中をまかせ
ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。

顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。

7 主なる神が助けてくださるから
わたしはそれを嘲りとは思わない。

わたしは顔を硬い石のようにする。
わたしは知っている

8 わたしの正しさを認める方は近いです。
誰がわたしと共に争ってくれるのか
われわれは共に立とう。

誰がわたしを訴えるのか
わたしに向かつて来るがよい。

9 見よ、主なる神が助けてくださる。
誰がわたしを罪に定めよう。

見よ、彼らはすべて衣のように朽ち
しみに食い尽くされるであろう。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

使徒書

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

朗読者 「使徒書はヤコブの手紙第二章一節から」

第二一六編（二節〜九節）

- 1 わたしは主を愛する＝ 主はわたしの声、わたしの願
- 2 いを聞き 日々、祈り求めるわたしに＝ 耳を傾けてくださった
- 3 死の綱目とよみの苦しみが迫り＝ 悩みと悲しみの中
- 4 にあったとき わたしは主の名を求めて呼んだ＝ 「主よ、わたしを助
- 5 けてください」 主は恵みと慈しみに満ち＝ わたしたちの神は憐れみ
- 6 深い 主は素朴な人の支え＝ わたしが衰えたとき救ってく
- 7 ださった わたしの魂よ、平安に憩え＝ 主は恵みを注いでく
- 8 ださった 神はわたしを死から救って涙をぬぐい＝ 足をつま
- 9 わたしは神のみ前を歩む＝ 神に生きる人びとの中で

1 わたしの兄弟たち、栄光に満ちた、わたしたちの主
 イエス・キリストを信じながら、人を分け隔てしてはなり
 ません。2 あなたがたの集まりに、金の指輪をはめた立派
 な身なりの人が入って来、また、汚らしい服装の貧しい人
 も入って来るとします。3 その立派な身なりの人に特別に
 目を留めて、「あなたは、こちらの席にお掛けください」
 と言い、貧しい人には、「あなたは、そこに立っているか、
 わたしの足もとに座るかしていきなさい」と言うなら、4 あ
 なたがたは、自分たちの中で差別をし、誤った考えに基
 づいて判断を下したことになるのではありませんか。

5 わたしの愛する兄弟たち、よく聞きなさい。神は世
 の貧しい人たちをあえて選んで、信仰に富ませ、御自身を愛
 する者に約束された国を、受け継ぐ者となさったではありません
 せんか。8 もしあなたがたが、聖書に従って、「隣人を
 自分のように愛しなさい」という最も尊い律法を履行し
 ているのなら、それは結構なことです。9 しかし、人を
 分け隔てするなら、あなたがたは罪を犯すことになり、律法
 によつて違犯者と断定されます。10 律法全体を守ったとし
 ても、一つの点でおちどがあるなら、すべての点について
 有罪となるからです。

14 わたしの兄弟たち、自分は信仰を持っていてと言

がいても、行いが伴わなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が、彼を救うことができるでしょうか。15もし、兄弟あるいは姉妹が、着る物もなく、その日の食べ物にも事欠いているとき、16あなたがたのだれかが、彼らに、「安心して行きなさい。温まりなさい。満腹するまで食べなさい」と言うだけで、体に必要なものを何一つ与えないなら、何の役に立つでしょう。17信仰もこれと同じです。行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。

18しかし、「あなたには信仰があり、わたしには行いがある」と言う人がいるかもしれません。行いの伴わないあなたの信仰を見せなさい。そうすれば、わたしは行いによって、自分の信仰を見せましょう。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」
会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マルコによる福音書第八章二七節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」
会衆 「主に栄光がありますように」

27 イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と言われた。28 弟子たちは言った。「洗礼者ヨハネだ」と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。29 そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」30 するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。

31 それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受けて、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちを教えた。始められた。32 しかも、そのことをはつきりとお話しになった。すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。33 イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」34 それから、群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。35 自分の命を救いたいのと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである。36 人は、

たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があるか。37 自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。38 神に背いたこの罪深い時代に、わたしは、人の子もまた、父の栄光に輝いて聖なる天使たちと共に来るときに、その者を恥じる。」

司祭 「主に感謝」
会衆 「主に感謝します」